

## 第36回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和3年8月6日（金） 県庁4階大会議室		
委員  (委員数：5) (出席数：5)	委員長	中出孝典	(富山大学名誉教授)
	委員	伊藤始	(富山県立大学工学部教授)
	委員	大石貴之	(弁護士)
	委員	佐藤綾子	(富山国際大学現代社会学部教授)
	委員	前田陽子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和2年度下半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和2年度下半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和2年度の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 令和2年度下半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和2年度下半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：1,026件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 庄東第一発電所大規模改良（リプレース）工事
	1億円以上	1件	(事案2) 森林政策課有峰庁舎新築
	2千万円以上	3件	(事案3) 総合運動公園公園総合交付金園路舗装改修第一工区 (事案4) 伏木富山港（新湊地区）県単独港湾改良整備 中野整理場護岸工 (事案5) 山地災害重点 柿谷 溪間
指名競争入札	4件	(事案6) 一般国道415号道路総合交付金（防災・防雪）消雪リフレッシュその2 (事案7) 小矢部川水系広谷川河川総合交付金河道掘削 (事案8) 主要地方道宇奈月大沢野県単独道路改良舗装工 (事案9) 山のみち交付金林道有峰線法面改良	
随意契約	1件	(事案10) 統一河川情報システム改修	
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	令和2年度下半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○審議対象案件全体について、新型コロナウイルス感染拡大を受けて県の入札制度の運用や一者入札への影響はどのようになっているか。</p>	<p>総合評価方式の評価項目として挙げているCPD(技術者の継続教育)講習について、感染拡大による受講機会の減少を踏まえ、取得単位数の要件を緩和したところ。</p> <p>また、一者入札は近年件数が増加傾向にあるものの、発注工事量の増加に伴うものであって、新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きくないのではないかと考えている。</p>
<p>○事案1の工事について、1者辞退しているが、辞退の理由と辞退したタイミングはどうだったのか。</p>	<p>入札参加申請を行った後、技術提案書の提出前に辞退された。県が辞退の理由を求めていることもあり、今後の県の発注見通しも踏まえて、より高い受注意欲を持つ案件に傾注するためではないかと推察している。</p>
<p>○事案3の工事について、変更契約はどのような内容であったのか。</p>	<p>令和3年1月の大雪の中でも現場を保存しつつ舗装工事を続行するため仮設テントを増工したものの。工事場所がJリーグの試合でも利用される富山県総合運動公園であったことから当初の工期内に工事を完成させる必要があった。</p>
<p>○事案5の工事について、入札参加申請者5者中4者が辞退しているのは何故か。</p>	<p>入札手続き期間であった3月は発注工事量が多い時期であることから、辞退された業者は参加申請を行った後に手持工事量等を総合的に考慮して辞退されたものと考えている。</p>
<p>○事案5の工事について、施工場所である氷見市以外の業者の参加申請がないが、原因をどのように考えているか。</p>	<p>施工場所が深い山間に位置していることなどの地理的な要因を考慮すると、氷見市以外の業者による参加申請はあまり期待できなかったところである。</p>
<p>○事案10の工事について、「予算額」と「設計額」はどのような違いがあるのか。</p>	<p>「予算額」は前年度の予算編成時に参考見積りや県の設計積算基準等から算出した概算額であり、「設計額」は調達にあたり改めて算出し、県の情報システム調達審査委員会の審査を経て妥当であるとされた金額である。</p>